



蓮沼中学校と松尾中学校の学校統合について

①制服・トレーニングウェアについて

統合準備委員会による書類審査とプレゼンテーション審査を経て、下記の通り制服・トレーニングウェアが完成しました。なお在校生については現在の制服・トレーニングウェアを引き続きご着用いただけます。



②校歌について

蓮沼中学校と松尾中学校の生徒から募集したフレーズを参考にして、こんどうふみこ近藤文子氏（作詞）となかのしん中野新吾氏（作曲）に校歌の作成をご依頼し、下記の通り校歌が完成しました。

なお、お二人は、今年度開校した日向小学校の新校歌も作成しています。

三	二	一	山武望洋中学校校歌
我らの山武望洋中学校 我ら 我ら 勝れる景色学び舎に 御丘の夕陽に夢誓い 拓きて進む仲間たち 守り伝えし伝統を 磯と里山あいとして はるかに望む空と海	我ら 我ら 我らの山武望洋中学校 互いの力逞しく 郷土の誇り躍進の 大空仰いで語る杉 稲穂は実り野菊咲き 豊かな流れ里に満ち 平野貫く木戸川の	我らの山武望洋中学校 桔梗が丘に昇りゆく 輝く朝日に希望をつなぎ 織りなす歴史今になを 浜の汀の風紋に 波は太古の音刻み 太平洋の海原に	

③校章について

蓮沼中学校と松尾中学校の生徒達から募集したデザインの中から、専門家が数点に絞り込み、統合準備委員会で協議した結果、右記の通り校章のデザインが選定されました。



応募されたデザイン



デジタル補整したデザイン



山武市教育委員会
ホームページ
QRコード

千葉県教育功労者表彰

学校保健の部

まかべ つとむ
真壁 力氏

(松尾中学校学校歯科医)

40年の長きにわたり、園児児童生徒の健康の保持・増進に積極的に取り組み、保健教育の進展に寄与した功績が認められ表彰されました。

社会教育の部

山武市立図書館

幼児から大人まで読書に親しめる環境づくりの構築や学校の図書環境の整備の支援によって、社会教育の進展に寄与した功績が認められ表彰されました。

学校教育の部

うちだ じゅんいち
内田 淳一氏

(成東小学校校長)

長きにわたり学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、教育の進展に寄与した功績が認められ表彰されました。

令和3年度教育委員会表彰

おおくぼ ひでこ
大久保 秀子氏

長きにわたり山武市芸術文化協会の枢要な役員を務め、山武市芸術文化協会の目的である山武市の芸術・文化の創造と振興及び明るく豊かでうるおいのある街づくりに寄与されました。

すずき ひでお
鈴木 秀夫氏

32年の長きにわたり山武市内の小・中学校医及び園医として、児童生徒及び園児の健康診断や疾病予防等、学校保健の発展向上に寄与されました。

いとう かつひろ
伊藤 克洋氏

薬剤師として、20年2か月の長きにわたり児童及び園児の健康保持や衛生管理のため、積極的かつ献身的に指導助言を行い、学校保健の推進に寄与されました。

おかざわ ひであき
岡澤 英明氏

13年の長きにわたり児童生徒及び園児の健康保持や衛生管理のため、積極的かつ献身的に指導助言を行い、薬剤師として学校保健の推進に寄与されました。

これらの功績に対し、10月30日（土）に行われた「山武市生涯学習振興大会」にて表彰されました。



表彰式の様子



左：伊藤克洋氏 右：大久保秀子氏

第13回山武市生涯学習振興大会

10月30日に第13回山武市生涯学習振興大会を成東文化会館のぎくプラザにて開催しました。

教育委員会顕彰表彰や、コミュニティ・スクール導入校（山武中学校・松尾小学校）からの活動報告のほか、ものまね番組に出演するなど活躍中の鎮目政宏氏を招き「震災ボランティア活動とあして人と人との繋がり」と題しての記念講演を行いました。



振興大会の様子



コミュニティ・スクール導入校活動報告の様子

教育委員就任

令和3年9月8日付で北田昭雄^{きただあきお}氏が教育委員に就任されました。任期は令和7年9月7日までです。



就学时健康診断

令和4年度に市内小学校へ入学を予定しているお子さんの就学时健康診断が実施されました。就学时健康診断は法律で定められており、お子さんが入学してから、健康で安心して小学校生活を送ることができるように内科検診、歯科検診、視力・聴力検査等を実施するものです。最近は「ことば（発音）」についての相談も増えており、就学指導に係る事前検査の際に市内幼稚園、こども園で発音検査も行われています。令和4年度の市内小学校への就学人数は305名の予定です。

英語教育の推進 ~イングリッシュイベント・オンライン交流会・英語力アップ講座~

市では、情報化・グローバル社会で活躍できる人づくりに向けて、英語教育の推進を図っており、異文化理解やコミュニケーション能力の育成に努めています。

10月に実施した小学校のイングリッシュイベントではハロウィンをテーマに映像や音楽を織り交ぜながら楽しく英語や異文化について学びました。松尾小学校では11月9日に豪州リンドク小学校とのオンライン交流会を行い、互いの学校紹介や質問タイム等で、同年齢の児童とリアルタイムでつながり親睦を深めました。

また、中学校の英語力アップ講座では英検に向けた集中講座を行いました。各中学校で受検級ごとに実施され、第2回英検受検に向けて真剣に学ぶ生徒の姿が見られました。

ABC
STUDY ENGLISH!
英語力
アップ講座



山武中学校



松尾中学校

HAPPY HALLOWEEN
イングリッシュ
イベント



南郷小学校



豪州リンドク
小学校との
オンライン
交流会



松尾小学校

交通安全教室

10月19日、成東中学校において、スタントマンによる交通事故疑似体験（スケアード・ストレイト）を取り入れた交通安全教室が実施されました。体育館での講話の後、グラウンドで様々なケースの交通事故再現が行われ、自転車に乗ったスタントマンが自動車と激しくぶつかる様子を間近で体験するなど、交通事故の怖さを体感する機会となりました。参加した生徒は「車でも自転車でも少しでも乗り方を間違えてしまったら、加害者にも被害者にもなってしまふことを理解しました。自分にできることで命を守りたい」と、交通ルール遵守やいのちの大切さを学びました。



短歌の鉄人「伊藤左千夫」

元治元年(1864)8月18日、上総国武射郡殿台村(現千葉県山武市殿台)において伊藤良作・なつの四男として生まれる。

農事のかたわら漢学を佐瀬春圃に学ぶ。明治14年(1881)2月元老院に「建白書」を提出。

3月には、明治法律学校(現在の明治大学)に入学したが眼病のため半年で中退し帰郷。

同18年「書置候事」を残し上京。東京・横浜の乳業店で働き、同22年4月に東京市本所茅場町三丁目(現東京都墨田区江東橋3-5-3)に「牛乳改良社(茅の舎・デボン社)」を開業。このころ同業の伊藤並根より和歌・茶の湯を学び、同28年桐の舎桂子に師事し万葉に関心を持つ。同31年新聞「日本」紙上で正岡子規と論争。のちに「歌よみに与ふる書」に感激し、同33年1月根岸短歌会に参加。

子規没後、同36年6月長塚節・蕨真らと根岸短歌会機関誌『馬酔木』創刊。同39年『ホトトギス』に『野菊の墓』発表。以後『隣の嫁』『分家』など自伝的小説を発表。同40年3月以降、森鷗外主宰の観潮楼会に出席し、外部の歌人に接し視野を広めた。

同41年1月『馬酔木』廃刊、後継誌『アカネ』を三井甲之が発行したが、左千夫と甲之が対立して別れ、10月に『阿羅々木』発刊。2巻以降は編集兼発行人となる。

左千夫は、アララギ派初期の主催者として島木赤彦・斎藤茂吉・中村憲吉・古泉千佳千樞・土屋文明ら多くの門人を養成した。

大正2年(1913)7月18日、脳溢血のため急逝。墓は東京都江東区亀戸の普門院にある。



乳牛と左千夫



野菊の墓(初版本)



伊藤左千夫生家

山武市歴史民俗資料館

令和3年度企画展 ほろびの光 -我れ四十九の年行かんとす-

今回の企画展示『ほろびの光-我れ四十九の年行かんとす-』では左千夫の最期や没後の家族の様子、顕彰事業について紹介しています。

企画展示のタイトル『ほろびの光』は、大正元年11月号の『アララギ』に掲載された5首を指し、左千夫公園にも歌碑があります。

主な史料は大正2年に左千夫が書き残した短歌ノートです。(年毎にノートを作成していたかは不明。)ノートには『アララギ』・『夫人評論』などに出詠する短歌が記載されており、作歌活動を積極的に行っていたことがわかります。B5判で4ページまでしか記載されていませんが、存命していれば全ページに作品を書いていたと思われます。

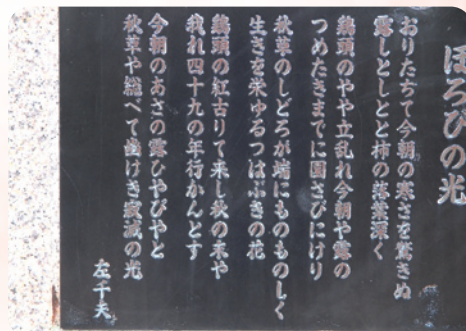
また、昭和23年に左千夫の甥の^{かおる}芬が便箋2枚半に『左千夫の最期』(没する数日前から当日まで)を克明に描いています。

『短歌ノート』も『左千夫の最期』も水害により劣化が著しく、文字も滲んだため、判読は大変困難でした。正に遺存していることが奇跡と言えます。

他にも葬儀の様子や左千夫の母なつの実家三木家(山武郡横芝町)から寄贈された手紙・写真を紹介しています。

ご来館をお待ちしております。

開催期間 令和3年10月24日(日)～
令和4年3月27日(日)
開催時間 9時～16時30分
開催場所 山武市歴史民俗資料館



ほろびの光



左千夫短歌ノート表紙